

令和5年度 広原小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン： 『よさを活かし「なりたい自分」を見つけ、行動し、実感できる学校づくり』

～生徒指導の三機能（自己肯定感の向上、共感的な人間関係の醸成、自己決定の場の確保）を活かした教育活動の展開～

評価基準 4～期待以上（90%以上） 3～ほぼ期待通り（70～90%） 2～やや期待を下回る（50～70%） 1～改善を要する（50%以下）

	評価項目	評価指標	具体的な数値目標	方策・手立てについての自己評価	評定		学校関係者評価コメント
					自己	学校関係者	
Ⅰ 学力の向上	1 指導方法の工夫改善と組織的な取組の充実	○ 授業改善とICT活用による「わかる」「できる」授業の実践 ○ 各種学力調査の分析に基づいた個に応じた指導の実践	○ 教員全員実施による研究授業を行う。 ○ 町学力テストの正答率+3ポイントの向上	○ 「わかる」「できる」授業改善への取組を通して、ICTの活用をしながら自己表現をさせる授業の質が向上した。今後も継続して取り組んでいく。 ○ 学力定着の時間や学力テスト前の過去問を中心とした指導を行った結果、基礎学力が向上した。	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力テストでは、6年生は町全体の平均値より上だったと聞き、安心しています。</li> <li>授業の内容は分かりませんが、今どきの授業なんだと思います。孫達も、「今日は何を勉強したよ。」とか、「先生がこんな事したよ。」とか、たまに教えてくれます。「学校は楽しい？」と聞くと、「うん、楽しい。」と即座に答えてくれます。それが一番。</li> </ul>
	2 特別支援教育の推進	○ 児童の特性に応じた指導・支援の充実を図る。	○ 児童・保護者のニーズに応じた指導を確実に(100%)に行う。	○ 特別支援教育に関する研修を行い、児童理解に基づいた指導・支援を全職員で行うことができた。	3		
	3 読書活動の推進	○ 学校司書や関係団体（ほぼんたの会）、家庭と連携し、読書習慣を育成する。	○ 読書量が昨年度よりも向上した児童の割合80%以上を目指す。	○ 児童一人一人の読書目標を達成するための読書イベントを継続して実施することができた。 ○ 学年によって個人差があるので、成果を視覚化し、取組の充実を図っていく必要がある。	2		
Ⅱ 豊かな心の充実	1 礼儀・節度の指導の充実	○ 日々の生活における基本的な行動様式が当たり前できるように指導を徹底する。	○ 学年の段階に応じた学習規律や礼儀・マナーを身に付けた児童80%を目指す。	○ 80%の児童があいさつや正しい言葉遣いができていると感じている。評価の基準に個人差があるため、礼儀やマナーのモデルを示しながら、指導の継続をしていく必要がある。	2	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちの良いあいさつをしてくれる子どもとそうでない子の差を感じるので、マナーのモデルを示していくことは大切だと思います。</li> <li>毎月のあいさつ運動や正しい言葉遣いなど、良くできていると思います。</li> <li>あいさつはよくしてくれます。</li> <li>不登校児童への指導をしっかりして頂いているかの情報も知りたいです。</li> </ul>
	2 所属感の高まり	○ 一人一人が成長を実感できる学校行事を行う。	○ 児童が所属感や自己肯定感をもち、学校が楽しいと思う児童90%を目指す。	○ 「広っ子米づくり・販売」、「広原棒踊りの伝承」、「児童集会」の中で、児童主体の活動を行うことができた。	3		
	3 積極的な教育相談	○ 「すこやか委員会」の充実による児童理解を深め、いじめ・不登校を未然に防ぐ。	○ いじめ・不登校解消率100%を目指す。	○ 「すこやか委員会（月1）」や「職員連絡会（週2）」の時間を活用しながら、児童理解に基づいた指導を行うことができた。児童1名が不登校になっているが、改善の傾向が見られている。	3		
Ⅲ 健康な身体づくり	1 児童主体の防災教育	○ 各機関と連携しながら、児童の安全意識の向上を図る。	○ 避難行動のきまりを守っている児童の割合100%を目指す。	○ 「火災」や「地震」、「不審者対応」など、防災意識を高める訓練を行うことができた。日常の安全意識を高めるための児童主体の「安全点検」の取組も行うことができた。	3	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力は、年々落ちていく傾向があるので、体力向上プランの実践を期待します。</li> <li>防災意識は、最も大事なことだと思います。「自分の命は自分で守る」ということがいかに大事か、テレビなどでも良く聞きました。子どもだけではなく、大人も意識する必要ありだと思います。</li> <li>手洗いは、学校ではしっかりできていると思うが、学校外ではおろそかになっているところがある。</li> </ul>
	2 体力向上プランの実施	○ 体力向上プランに基づいた実践及び個に応じた指導により、体力アップを目指す。	○ 体力テストのDE段階男子20%、女子15%以下を目指す。	○ 体力テストでは、DE段階男子22.6%、女子19%で目標達成にはならなかった。スクールスポーツプランに基づいた体育学習の充実をさらに図る必要がある。	2		
	3 健康・安全教育の推進	○ 個に応じた保健指導により、自己の健康を守る意識と実践力を高める。	○ ハンカチ携帯、清掃後の手洗い等ができる児童80%以上を目指す。 ○ メディアとの付き合い方について、児童・保護者共に意識が高まる。	○ 90%の児童が健康を考えた生活を送っていると答えている。今後とも健康面の指導の継続を行っていく。 ○ メディアコントロールができていないと感じている保護者の割合が高い。家庭への啓発を継続していく。	3		
Ⅳ 「信頼される学校」づくり	1 コンプライアンス対策の充実	○ コンプライアンスに関する研修と指導を継続し、法令違反等の不祥事ゼロを目指す。	○ 法令違反等の不祥事ゼロを目指す。	○ 具体的事案や啓発資料を活用した研修を実施することができた。定期的にコンプライアンスの遵守に関する呼びかけに努めた。現在、本校職員の不祥事はゼロである。	4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の花壇の花々はとてもきれいで、私達も楽しく見させて頂いています。また、地域の特色を生かした取組も先生達の熱心さが伺えました。これからも大事にしてほしいと思います。</li> </ul>
	2 地域の力や特色を生かした取組の推進（ふるさと教育の充実）	○ 総合的な学習の時間の充実を図り、自分の生き方について考える力を育む教育活動を推進する。	○ 計画された伝統芸能や環境美化活動を確実に実施する。	○ 棒踊りやグラウンドゴルフ、地域の花壇への花の植栽など、地域人材を活用した本校ならではの活動を実施することができた。	4		

